O&O software

O&O BlueCon



目次

1 はじめに 4

2 最初の手順 6

2.1 機能一覧 6

2.2 エディションの比較 8

2.3 システム要件 10

2.4 インストールと認証 11

2.5 最初の操作 13

2.6 画面の使い方 15

2.7 目的別の復旧手順 17

3 基本事項 19

3.1 回復環境の仕組み 19

3.2 対象システム 20

4 起動メディアを作成する 21

4.1 起動メディアの作成 21

4.2 Windows に O&O BlueCon を統合する 23

4.3 ドライバーとプログラムの選択 24

5 O&O BlueCon を起動する 26

5.1 回復メディアからコンピューターを起動する 26

5.2 対象システムの準備 27

5.3 BitLocker ドライブのロック解除 29

5.4 ドライバーの読み込み 31

5.5 ネットワークと画面の設定 32

6 Windows を修復する 33

6.1 Windows インストールの修復 33

6.2 障害のあるドライバーやサービスを無効にする 34

6.3 Windows 更新プログラムを削除する 36

6.4 Windows を起動せずに対象のレジストリを編集する 37

6.5 イベントログの確認 39

7 アクセスを回復する 40

7.1 Windows アカウントの回復 40

7.2 ローカルユーザーとグループの管理 41

8 データの復旧と管理 42
8.1 起動しないコンピューターからファイルをコピーする 42
8.2 削除したファイルの復旧 44
8.3 ドライブイメージの作成と復元 45
8.4 パーティションの管理 47
8.5 ドライブの完全消去 49
8.6 システム情報の確認 50
9 設定 51
10 リファレンス 53
10.1 Start メニューとプログラム 53
10.2 キーボードショートカット 56
10.3 コマンドライン 57
10.4 クラッシュレポート 58
10.5 用語集 59
11 トラブルシューティング 60
12 よくある質問 63
13 新機能 65
14 O&O のサポートと関連製品 66

はじめに

O&O BlueCon は障害が発生した、または起動しなくなった Windows PC・サーバーの回復と管理に使うツール集です。BlueCon の USB ドライブ、ISO イメージ、Windows ブートメニューのいずれかから独立した Windows 環境を起動し、ディスク上の Windows を起動せずに作業できます。

本書は Windows の保守を担当するサポート技術者や管理者を対象としています。

O&O BlueCon でできること

- **Windows の修復:** 起動しなくなった Windows のコンポーネントストア、システムファイル、ファイルシステムを検査・修復します。
- **アカウントの回復:** アカウントの正規の回復方法を確認し、ローカルユーザーとグループを管理します。
- **ドライバー、サービス、更新の問題の解消:** 起動障害の原因となるドライバーやサービスを無効にしたり、更新を削除したりします。
- **レジストリの編集:** インストール先の Windows を起動せずに、そのレジストリを編集します。
- **データの復旧:** 外付けドライブへのコピー、削除済みファイルの復旧、ドライブ全体のバックアップと復元を行います。
- **ドライブ管理と消去:** パーティションを作成・変更し、譲渡や処分の前にドライブを完全消去します。
- **BitLocker のロック解除:** 有効な回復キー、パスワード、キーファイルを使って暗号化ドライブを開きます。

起動メディアで使えるプログラムは 機能一覧 を参照してください。

O&O BlueCon の仕組み

O&O BlueCon は次の 2 つで構成されます。

1. **メディア作成ツール** は正常な Windows コンピューターで使います。回復環境を USB、ISO・WIM ファイル、またはそのコンピューターのブートメニューに準備します。起動メディアの作成 を参照してください。
2. **回復環境** は修復対象で起動します。ウィザードが Windows を特定し、ドライバーを読み込み、ネットワークを設定します。ツールは選択したインストールを対象にします。回復環境の仕組み を参照してください。

ライセンスと表示言語

作成ツールを日本語で使うと、日本語のボタンや設定項目が表示されます。作成したメディアの回復環境は英語で起動します。本書の回復環境の手順では、**Start**、**Target**、**Next** のように画面に実際に出る英語名を使用します。ドイツ語の回復環境になるのは作成ツール自体をドイツ語で使用した場合だけです。

O&O BlueCon は商用ソフトウェアです。メディアの作成には有効なライセンスが必要です。含まれるプログラムはエディションとライセンスに応じて変わります。エディション と インストールと認証 を参照してください。

目的別の読み方

- 初めての方は 最初の操作 で、インストールから回復環境の初回起動までを確認できます。

- 起動障害では、別のコンピューターで作成したメディアから対象を起動し、Windows インストールの修復 を参照してください。
- パスワードを忘れた場合は Windows アカウントの回復 を参照してください。
- よくある状況ごとの案内は 目的別の復旧手順 にあります。
- 期待した結果が得られない場合は トラブルシューティング を参照してください。

> **障害が起きる前にメディアを用意する**
>
> 正常に稼働している間に起動 USB を作り、実機で動作確認しておくと、障害発生時に検証済みのメディアをすぐ使えます。

本書は画面写真を使わず、操作手順を文章で説明しています。

機能一覧

起動メディアには Windows の修復・管理用のプログラムが含まれます。各プログラムは起動ウィザードで選択したインストールを対象にします。対象システム を参照してください。

Windows の修復

プログラム	用途
O&O CheckAndRepair	コンポーネントストア（DISM）、システムファイル（SFC）、ファイルシステム（CHKDSK）の検査・修復。Windows インストールの修復
O&O UpdateManager	更新後に Windows が起動しなくなった場合などに、インストール済みの更新を削除。Windows 更新プログラムの削除
O&O DriverManager、O&O ServiceManager	ドライバーやサービスの起動方法を変更し、障害のあるものを無効化。ファイルが欠けた項目も特定できます。ドライバーやサービスの無効化
O&O RegEditor	ディスク上の Windows のレジストリを編集。Windows を起動せずにレジストリを編集する
O&O EventViewer	選択したインストールのアプリ・システムログの表示と、別のイベントログファイルの読み込み。イベントログの確認

アカウントの回復

プログラム	用途
O&O UserManager	ローカルユーザー、グループ、パスワードに関する管理。Windows アカウントの回復、ローカルユーザーとグループの管理

データの復旧と管理

プログラム	用途
O&O DiskCommander	ドライブを閲覧し、外付けドライブなどにファイルをコピー。起動しないコンピューターからのコピー
O&O DiskRecovery	削除したファイルの復旧。
O&O DiskImage	ドライブまたはパーティション全体のバックアップと復元。ドライブイメージの作成と復元
O&O PartitionManager	パーティションの作成、移動、削除、サイズ変更。パーティションの管理
O&O SafeErase	ドライブ・パーティションの復元できない消去。ドライブの完全消去
O&O DeskInfo	コンピューターの構成情報の表示・エクスポート。システム情報の確認

補助ツール

- オンラインヘルプの参照やダウンロードには **Mozilla Firefox**。
- テキストファイルやログの表示には **Notepad++**。
- 十進、十六進、八進、二進表記の変換に対応した電卓 **O&O Calc**。
- **Microsoft PowerShell** と、**Run…** から開けるコマンドプロンプト。コマンドライン を参照してください。
- **O&O BlueCon - Configuration** でウィザードを再度開き、対象システム、ドライブ、ネットワーク、画面を変更できます。

Firefox、Notepad++、PowerShell はメディア作成時にダウンロードされます。Start メニューとプログラム を参照してください。

ライセンス別の機能

ネットワーク起動、O&O DiskImage、O&O DiskRecovery、O&O PartitionManager、O&O SafeErase には該当ライセンスが必要です。エディション を参照してください。対象プログラムは自動で追加されます。選択内容はエキスパートモードの **プログラム** で確認できます。ドライバーとプログラムの選択 を参照してください。

関連項目

- システム要件
- 最初の操作

エディションの比較

エディションはシリアル番号で識別されます。メディア作成ツールはライセンスのエディションを認識し、それに対応するプログラムを組み込みます。

各エディションの対象

エディション	想定する用途
Personal Edition	個人が自分のコンピューターを保守する場合。
Corporate Edition	企業が 1 台のワークステーションを保守する場合。
Technician Edition	IT 技術者やサービス事業者が顧客先を含め複数のコンピューターを扱う場合。
Site Edition	企業が 1 拠点のすべてのコンピューターを保守する場合。
Enterprise Edition	企業が複数拠点のコンピューターを保守する場合。

対象のコンピューター台数、技術者数、拠点数はお手元のライセンス条件で確認してください。現在の提供内容は O&O BlueCon の製品ページ に掲載されています。

利用できる機能

すべてのエディションで Windows の修復、アカウント回復の支援、ファイルのコピーを行えます。機能一覧 を参照してください。以下の機能はエディションごとに異なります。

製品または機能	Personal	Corporate	Technician	Site	Enterprise
O&O DiskImage によるドライブのバックアップと復元	–	✓	✓	✓	✓
ネットワーク起動（PXE）	–	–	✓	–	✓

O&O DiskRecovery、O&O SafeErase、O&O PartitionManager は、ライセンスに含まれる場合に追加されます。組み込み対象はエキスパートモードの **プログラム** タブで確認できます。ドライバーとプログラムの選択 を参照してください。

> **ドメインアカウント**
>
> O&O UserManager が扱うのは対象 Windows のローカルアカウントのみです。ドメインや Microsoft アカウントは アカウントの回復方法 を参照してください。

エディションを変更したら

作成済みメディアには元のエディションのプログラムが残ります。エディション変更後はメディアを作り直してください。

関連項目

システム要件

システム要件

メディア作成に使用するコンピューター

- 64 ビット版の Windows 10、Windows 11、または Windows Server 2016 以降。
- インストールに必要な管理者権限。
- Microsoft .NET 10 Desktop Runtime（x64）。未導入の場合はセットアップがダウンロードしてインストールします。
- Microsoft の最新の回復環境や Firefox などのプログラムをダウンロードするためのインターネット接続。接続できない場合は作成用コンピューター内の回復環境が使われます。
- USB メディアには USB メモリを使えます。**すべてのドライブを表示** を有効にすると USB 接続の HDD や SSD も選べます。**選択したドライブの全データが消去されます。**

Windows ADK および Windows PE アドオンは不要です。

修復対象のコンピューター

次の Windows インストールに対応しています。

- Windows 10 および Windows 11（すべての x64 エディション）。
- Windows Server 2016、2019、2022、2025（すべてのエディション）。

USB または ISO イメージ（DVD や仮想マシンなど）から起動できる必要があります。既定設定で作成したメディアは BIOS と UEFI に対応します。

> **セキュアブート**
>
> メディアから起動できない場合はファームウェアの起動順序とセキュアブート設定を確認してください。トラブルシューティング を参照してください。

関連項目

インストールと認証

インストールと認証

正常な Windows コンピューターに O&O BlueCon をインストールし、そこで起動メディアを作ります。修復対象のコンピューターへのインストールは不要です。

開始前の確認: 管理者権限と システム要件 を満たすコンピューターが必要です。

O&O BlueCon をインストールする

1. ダウンロードしたインストーラーを実行します。
2. Microsoft .NET 10 Desktop Runtime がない場合は、そのインストールを承認します。
3. 使用許諾契約に同意し、インストール先を選びます。
4. インストールを実行します。

デスクトップとスタートメニューに **O&O BlueCon** のショートカットが作成されます。ここからメディア作成ツールを開けます。

ライセンスを入力する

初めてメディアを準備するときにライセンス情報を求められます。

1. **O&O BlueCon** を開きます。
2. **アプリケーションを使用するために起動可能なメディアを作成する** など、2 つのタイルのいずれかを選びます。
3. **ライセンス情報** に氏名、会社名、シリアル番号を発行時の表記どおりに入力します。情報をまとめてコピーし、**クリップボードからライセンス情報を貼り付ける** で取り込むこともできます。
4. O&O DiskImage など個別ライセンスを持つツールのタブがある場合は、**保有するライセンスを使用する** を選んで該当情報を入力します。
5. **適用** を選びます。

次回以降は、ライセンスが不足しているか無効な場合だけ画面が表示されます。

> **登録名義に注意**
>
> 氏名と会社名はライセンス情報と正確に一致させてください。一致しない場合はライセンスが無効と表示されます。

O&O BlueCon を更新する

新しいバージョンを現在の環境に上書きインストールします。メディアにも更新を反映するには作り直してください。

関連項目

最初の操作

最初の操作

起動用 USB ドライブを作成し、そこから BlueCon のツールを開いてみましょう。初めて試すときは正常なコンピューターを使ってください。

開始前の確認: O&O BlueCon のインストールと認証 を済ませ、全データを消去してよい USB ドライブを用意します。

1. 起動 USB ドライブを作成する

1. USB ドライブを接続します。
2. **O&O BlueCon** を開きます。
3. **アプリケーションを使用するために起動可能なメディアを作成する** を選びます。
4. **書き込み先メディアの選択** で **リムーバブルディスク** を選び、ドライブの名前と容量を確認します。
5. **適用** を選びます。
6. 確認画面でもう一度対象を確認し、**ディスクを消去** を選びます。

準備、**パッケージの統合**、**ドライバーの統合**、**設定を書き込む**、**メディアを作成** の順に進みます。**作成に成功しました!** と表示されるまで数分待ちます。

> **USB ドライブ全体が消去されます**
>
> 選択した USB ドライブ上のすべてのパーティションとファイルが削除されます。

2. USB ドライブから起動する

1. テスト用コンピューターに USB ドライブを接続し、再起動します。
2. ファームウェアのブートメニューを開き、USB ドライブを選びます。メニューを開くキーはメーカーにより異なり、F12、F11、F8、Esc などがあります。

読み込み中は **Starting O&O BlueCon…** と表示されます。回復メディアからの起動 を参照してください。

3. 起動ウィザードを確認する

Welcome to O&O BlueCon の画面に 3 項目が表示されます。

- **Target** はディスク上で検出した Windows です。
- **Network** はネットワークとインターネットの接続状況です。
- **Screen** は画面の解像度です。

状態が緑なら変更は不要です。**Next** を選びます。

4. プログラムを開く

1. タスクバーの **Start** をクリックするか、Windows キーを押します。
2. **Programs > Administrative Tools > O&O DeskInfo** を選びます。

O&O DeskInfo に機器構成が表示されます。デスクトップ上部のタイルからも各プログラムを起動できます。

5. O&O BlueCon を終了する

1. **Start** を開き **Restart** を選びます。
2. **Restart** を確定し、USB ドライブを外します。

通常の Windows が起動します。

関連項目

- 画面の使い方
- Windows インストールの修復
- USB を使わずブートメニューから起動するには Windows に O&O BlueCon を統合する を参照してください。

画面の使い方

O&O BlueCon には 2 つの画面があります。メディア作成ツールは正常な Windows コンピューターで、回復環境は修復対象のコンピューターで使用します。

メディア作成ツール

メイン画面の **回復環境を作成** から起動メディアの作成や Windows への統合を行います。

項目	用途
アプリケーションを使用するために起動可能なメディアを作成する	回復環境を USB に書き込むか ISO・WIM イメージに保存します。起動メディアの作成
アプリケーションをMicrosoft Windowsに直接統合	Windows のブートメニューに BlueCon を追加します。Windows への統合
起動メニューのリセット	統合時に追加した項目を削除します。追加済みの場合にのみ表示されます。
詳細オプション	エキスパートモード、作成前のクリーンアップ、O&O Syspectr との連携、ログを設定します。設定
回復環境の開始	用意したメディアから起動する方法を表示します。
バージョン情報	バージョンとライセンス情報を表示します。

起動ウィザード

メディアから起動すると **Welcome to O&O BlueCon** が Windows の検索、ドライブ文字の割り当て、BitLocker ロック解除、ネットワークと画面の設定を案内します。各行に状態と **Change** が表示されます。対象システムの準備 を参照してください。

再度開くには **Start > Control Panel > O&O BlueCon - Configuration** を選びます。

デスクトップ

項目	用途
Launch pad	画面上部に Start メニューと同じ分類でプログラムが並びます。タイルをクリックして起動します。
Start	**Control Panel**、**Programs**、**About**、**Help and Support**、**Run…**、**Restart**、**Shut down** が開きます。
タスクバーボタン	ボタンをクリックすると対応するウィンドウが前面に出ます。再度クリックすると最小化し、右クリックするとメニューが開きます。
時計	時刻が表示され、クリックすると日付を確認できます。

回復環境では Windows のエクスプローラーの代わりに **O&O DiskCommander** を使用します。Windows+E で開けます。

Start メニューとプログラム、キーボードショートカット も参照してください。

関連項目

回復環境の仕組み

目的別の復旧手順

該当する状況を以下から選んでください。BlueCon を使用するときは 回復メディアから起動 し、ウィザードで正しい 対象システム が選択されていることを確認します。

Windows が起動しない

1. 重要なファイルを退避 します。
2. Windows インストールを修復 します。
3. 変更直後に起きた障害なら、次の 2 項目を確認してから更新の削除やドライバーの無効化を行います。

更新後に Windows が起動しない

1. イベントログを確認 して影響を受けたコンポーネントを特定します。
2. 問題発生の直前にインストールした Windows 更新プログラムを削除 します。
3. 内蔵ディスクから再起動します。

ドライバーのインストール後にブルースクリーンになる

1. **System** ログでドライバーを特定します。イベントログの確認 を参照してください。
2. 該当するドライバーまたはサービスを無効化 します。
3. Windows を再起動し、修正版のドライバーをインストールします。

パスワードを忘れた

- ローカルアカウントの場合は Windows アカウントの回復 を参照してください。
- 管理者アカウントを利用できない場合は担当管理者に相談します。ローカルユーザーとグループの管理 を参照してください。

ドメインまたは Microsoft アカウントは、組織またはサービス提供元の手続きを利用してください。

Windows ドライブが BitLocker でロックされている

48 桁の回復キーを用意します。必要な理由、探し方、使用方法は BitLocker ドライブのロック解除 を参照してください。

ファイルを削除してしまった

1. 対象ディスクの Windows を起動しないでください。書き込みのたびに削除データが上書きされる可能性があります。
2. 外付けドライブに 削除ファイルを復旧 します。

ディスクが故障しかけている

1. 最初に 最も重要なファイルをコピー します。
2. ディスクのイメージを作成 します。

コンピューターを修復できない

そのコンピューターのイメージバックアップがあれば、ドライブを復元 します。

Windows パーティションを分割したい

単一パーティション上の Windows とデータを分けるには、パーティションの管理 を参照してください。

コンピューターを譲渡・処分する

1. 残したいデータを別のドライブに保存します。
2. ドライブを完全消去 します。

ネットワークケーブルがない

共有へのコピーやドライバーのダウンロードには、起動ウィザードで Wi-Fi に接続 します。

回復環境の仕組み

O&O BlueCon の回復環境は Windows PE を基にした小規模な Windows です。回復メディアから起動し、コンピューターのメモリ上で動作します。ディスクにインストールされた Windows は起動せず、そのデータを BlueCon で扱えます。

別の環境を使う理由

起動しない Windows をその中から修復することはできません。また通常の起動中は、多くのファイル、レジストリ、ドライバーが使用中です。回復環境なら、インストール済み Windows のファイルを確認・交換・変更したり、起動を妨げているドライバー、サービス、更新プログラムを無効化・削除したりできます。

X: ドライブと再起動後のデータ

回復環境の **X:** ドライブはメモリ上にあり、環境のプログラム、設定、一時ファイルが入っています。

- X: に保存したものは再起動またはシャットダウンで失われます。
- 残したいログ、エクスポートファイル、レポートは、内蔵ディスクや USB ドライブに保存してください。
- ディスク上の Windows に適用した修復やレジストリの変更、正規の手続きを通じて行ったアカウント変更は、再起動後も残ります。

ドライバー

メディアには、作成に使ったコンピューターのドライバーと回復環境自体のドライバーが入ります。別の機器でストレージやネットワーク用のドライバーが足りない場合は、起動ウィザードから読み込めます。ドライバーの読み込み を参照してください。

表示言語

メディア作成ツールがドイツ語の場合はドイツ語のメディアを作成します。日本語を含むほかの言語では、回復環境は英語になります。起動ウィザード、デスクトップ、各プログラムはメディアの言語で表示されます。

関連項目

- 起動メディアの作成
- メディアからコンピューターを起動する
- 対象システム

対象システム

対象システムは修復したい Windows のインストールです。O&O CheckAndRepair、O&O RegEditor、O&O UserManager はそのインストールを対象に処理します。各ツール自体が動作するのは回復環境です。

Windows の検出手順

回復環境の起動時に、ウィザードは次の順に処理します。

1. 起動メディアに含まれるドライバーを読み込みます。
2. BitLocker で暗号化されたドライブを探します。
3. 各ボリュームにドライブ文字を割り当てます。
4. すべてのドライブで Windows のインストールを検索します。

1 つだけ見つかった場合は自動で選択します。その Windows でのドライブ文字を対象ボリュームに使うため、通常、Windows ドライブは回復環境でも **C:** と表示されます。

複数見つかった場合

ウィザードに複数のインストールが見つかった旨が表示されます。**Target** で修復対象を選択できます。後で変更した場合、その後に開いたプログラムから新しい対象を使用します。対象システムの準備 を参照してください。

Windows が見つからない場合

次の原因を確認してください。

- BitLocker ドライブがロックされたままになっている。BitLocker ドライブのロック解除 を参照してください。
- ストレージコントローラー用のドライバーがメディアにない。ドライバーの読み込み を参照してください。
- ドライブが接続されていない、または故障している。

関連項目

- 対象システムの準備
- Windows インストールの修復

起動メディアの作成

起動メディアがあれば、コンピューターの Windows が起動しなくても O&O BlueCon を使えます。正常に動作するコンピューターで準備してください。

事前に用意するもの

- 有効なライセンスで O&O BlueCon をインストールしてください。インストールと認証 を参照してください。
- Windows 回復環境および作成時に取得するプログラムのダウンロードに、インターネット接続が必要です。
- USB ドライブを使う場合は、内容をすべて消去してもよいものを用意します。

書き込み先メディアを選ぶ

書き込み先	用途
リムーバブルディスク	BIOS または UEFI のコンピューター用に起動 USB ドライブを作成する推奨の方法です。
ISO イメージ	ライティングソフトで CD/DVD に書き込むか、仮想マシンの起動に使うファイルを作成します。
WIM イメージ	独自の起動環境で使用できるよう、Windows イメージ形式で回復環境を保存します。

メディアを作成する

1. **O&O BlueCon** を開きます。
2. **アプリケーションを使用するために起動可能なメディアを作成する** を選びます。
3. ライセンス画面が表示されたらライセンス情報を入力し、**適用** を選びます。
4. **書き込み先メディアの選択** で **書き込み先メディア** を選びます。

- USB 接続の HDD や SSD を一覧に含めるには、**すべてのドライブを表示** を有効にします。

5. **適用** を選びます。
6. ISO または WIM イメージの場合は、フォルダーとファイル名を指定して **保存** を選びます。 USB ドライブの場合は、確認画面で対象ディスクを確認してから **ディスクを消去** を選びます。

作業は **準備**、**パッケージの統合**、**ドライバーの統合**、**設定を書き込む**、**メディアを作成** の 5 段階で進みます。初回は回復環境をダウンロードするため時間がかかります。次回以降は取得済みのファイルを再利用します。

> **ディスク全体が消去されます**
>
> USB に起動メディアを書き込むと、表示されたドライブ文字に対応する領域だけでなく、そのディスク上のすべてのパーティションとデータが消去されます。

結果

画面に **作成に成功しました!** と表示されます。USB ドライブのボリュームラベルは **OOBC** となり、BIOS と UEFI のコンピューターで起動できます。

作成失敗と表示された場合は トラブルシューティング を参照してください。

起動メディアに含まれるもの

- O&O BlueCon の回復環境と、ライセンスの対象プログラム。
- メディアを作成したコンピューターのドライバー。同様のハードウェアを搭載したコンピューターでも使用できるようにするためのものです。
- 作成ツールをドイツ語で使用した場合は回復環境もドイツ語になります。日本語を含むその他の言語で作成した場合、回復環境は英語で表示されます。

ドライバーや任意のプログラムを除外するには ドライバーとプログラムの選択 を参照してください。

> **起動メディアを最新の状態に保つ**
>
> メディアは自動更新されません。別バージョンの O&O BlueCon をインストールした場合や、新しい機器のドライバーが必要になった場合は作り直してください。

関連項目

- メディアからコンピューターを起動する
- Windows に O&O BlueCon を統合する

Windows に O&O BlueCon を統合する

O&O BlueCon をブートメニューに追加すると、ディスクとブートマネージャーが正常な間は USB ドライブを用意しなくても回復環境を起動できます。

前提条件: 対象コンピューターに O&O BlueCon がインストールされ、有効なライセンスが必要です。

ブートメニューに項目を追加する

1. **O&O BlueCon** を開きます。
2. **アプリケーションをMicrosoft Windowsに直接統合** を選びます。
3. **統合に成功しました!** と表示されるまで待ちます。

回復環境がコンピューターにコピーされ、ブートメニューに項目が追加されます。以前の設定は保存され、起動のたびにメニューが 5 秒間表示されます。

ブートメニューから O&O BlueCon を起動する

1. コンピューターを再起動します。
2. ブートメニューで O&O BlueCon を選びます。

ブートメニューから削除する

1. **O&O BlueCon** を開きます。
2. **起動メニューのリセット** を選びます。
3. O&O BlueCon をブートメニューから削除するか尋ねられたら確定します。

項目が削除され、以前のブートメニュー設定が復元されます。

> **起動用 USB ドライブが必要な場合**
>
> ブートメニューからの起動には、ディスクと Windows ブートマネージャーが正常であることが必要です。メニューを表示できなくなった場合に備え、起動用 USB ドライブも用意しておいてください。

関連項目

対象システムの準備

ドライバーとプログラムの選択

既定では、作成に使うコンピューターのすべてのドライバーと、ライセンス対象のプログラムが含まれます。エキスパートモードでは作成のたびに選択を確認でき、別のコンピューター用のストレージドライバーを追加したり、任意のプログラムを除いたりできます。

エキスパートモードを有効にする

1. **O&O BlueCon** を開きます。
2. **詳細オプション** を選びます。
3. **詳細設定** タブで **エキスパートモード** を有効にします。
4. ウィンドウを閉じます。

以降はメディアの作成前に毎回エキスパートモードの画面が開きます。元の動作に戻すには **エキスパートモード** を無効にします。

ドライバーを選ぶ

1. 通常の手順で 起動メディアの作成 を開始します。
2. エキスパートモードで **ホストのドライバーを含める** を開きます。
3. 次のいずれかを選びます。

- **ホストシステムのすべてのドライバーを含める（推奨）**
- **ドライバーを含めない**
- **選択したドライバーを含める**。一覧で対象にチェックを付けます。未インストールのドライバーは **追加** で .inf ファイルを指定します。**すべて選択** と **すべての選択を解除** は一覧全体に作用します。

プログラムを選ぶ

1. エキスパートモードで **プログラム** を開きます。
2. 起動メディアに含めないプログラムのチェックを外します。

備考 列には、選択を変更できない理由やプログラムの追加方法が表示されます。

表示	意味
常に含まれます	回復環境に組み込まれています。
ライセンス ウィンドウで選択します	ライセンス画面で入力した内容に従って含まれます。
別の設定により除外されています	O&O Syspectr の設定など、別の項目で除外されています。
作成中にダウンロードされます	Firefox などはメディア作成時にインターネットから取得します。ダウンロードしない場合はチェックを外してください。

3. メディアの作成を続けます。

結果

選択したドライバーとプログラムがメディアに含まれます。除外したプログラムは、回復環境のスタートメニューや起動パネルにも表示されません。

関連項目

設定

回復メディアからコンピューターを起動する

BlueCon のメディアから起動すると、ディスク上の Windows を起動せずに保守できます。

事前に用意するもの: 起動メディア または Windows ブートメニューの BlueCon 項目 が必要です。

USB ドライブから起動する

1. BlueCon の USB ドライブを接続します。
2. コンピューターの電源を入れるか再起動します。
3. ファームウェアのブートメニューで USB ドライブを選びます。メニューを開くキーはメーカーごとに異なり、F12、F11、F8、Esc などがあります。BIOS/UEFI の起動順序で USB を先頭にする方法もあります。

ISO イメージから起動する

- **仮想マシン:** ISO ファイルを仮想 DVD ドライブにマウントし、そのドライブから仮想マシンを起動します。
- **DVD:** ライティングソフトで ISO イメージを DVD に書き込み、ディスクを入れて DVD ドライブから起動します。

Windows のブートメニューから起動する

再起動し、Windows ブートメニューで O&O BlueCon を選びます。

結果

Starting O&O BlueCon… と表示され、ドライバーの読み込みとネットワークの初期化が終わると **Welcome to O&O BlueCon** が開きます。

> **メディアからの起動だけではディスク上の Windows は変更されません**
>
> 変更が行われるのは、インストール先の Windows にツールがデータを書き込んだときです。

O&O BlueCon を終了する

1. **Start** を開きます。
2. **Restart** または **Shut down** を選んで確定します。

ウィザードの **Restart** も利用できます。次の起動前に USB を取り外し、インストール済みの Windows から起動します。

関連項目

対象システムの準備

対象システムの準備

起動時に自動で **Welcome to O&O BlueCon** が開き、ツールからディスク上の Windows を扱えるよう準備します。問題が表示されている行を確認してください。

状態を読み取る

3 つの行にそれぞれ状態と **Change** ボタンがあります。

行	正常時	確認が必要な場合
Target	Windows が検出され、保守対象に選択されています。	複数見つかった場合や見つからない場合。
Network	ネットワークとインターネットに接続しています。	未接続またはアダプターが検出されない場合。ネットワークと画面の設定
Screen	適切な画面解像度です。	より高い解像度が使える場合。画面解像度の変更

ドライバーが足りないと該当行に **Load storage driver…** または **Load network driver…** が表示されます。ドライバーの読み込み を参照してください。

準備が済んだら **Next** でデスクトップを開きます。

Windows インストールを選ぶ

1. **Target** 行で **Change** を選びます。
2. **Target** タブでインストールを選びます。**Title**（名称）、**Location**（場所）、**Build**（ビルド）、**Install date**（インストール日）で識別できます。
3. **Selected Windows instance:** を確認します。
4. **Close** を選びます。

ドライブ文字を割り当てる

対象 Windows の保守には全ドライブに文字が必要です。ウィザードが自動で割り当てます。変更するには次の手順を使います。

1. **Target** 行で **Change** を選びます。
2. **Drives** タブを開きます。
3. ドライブを選び **Assign** をクリックします。
4. 文字を選び **OK** をクリックします。
5. **Close** を選びます。

Windows が見つからない場合

Target に **No installed Windows system found** と表示されたら、次を確認します。

- Windows ドライブが暗号化されている場合は、有効な BitLocker キー保護機能でロックを解除 します。
- ストレージドライバーがない場合は **Load storage driver…** で読み込みます。ドライバーの読み込み を参照してください。

ウィザードを再度開く

Start > Control Panel > O&O BlueCon - Configuration を開くと、現在の設定が表示されます。**Next** で終了します。

関連項目

- Windows インストールの修復
- 対象システム

BitLocker ドライブのロック解除

BitLocker ドライブは回復環境ではロックされたままです。有効な手段で解除すると、BlueCon がその Windows インストールを検出して修復できるようになります。

事前に用意するもの: 対象ドライブで有効なキー保護機能が必要です。一般的には 48 桁の回復キーを使用します。

回復キーが必要な理由

多くの Windows 10・11 コンピューターは TPM（Trusted Platform Module）でドライブのロックを自動解除するため、通常はパスワードの入力を求めません。Windows 11 ではデバイスの暗号化が自動で有効になることもあります。TPM がキーを提供するのは、通常どおりインストール済み Windows から起動した場合です。BlueCon の USB から起動するとドライブはロックされたままになります。

これにより、別のメディアから起動しただけでデータを読まれることを防ぎます。BlueCon では回復キーなど有効な解除手段が必要です。

回復キーを探す

回復キーは BitLocker またはデバイスの暗号化を有効にした時点で保存されています。次の保存先を確認してください。

- **Microsoft アカウント:** 別のデバイスから aka.ms/myrecoverykey にサインインします。各キーの横に ID が表示されます。
- **組織のコンピューター:** 通常は IT 部門が Active Directory または Microsoft Entra ID でキーを管理しています。
- **印刷物やファイル:** 有効化時に印刷した用紙、保存したファイル、USB ドライブを確認します。

複数ある場合は、解除画面の **Recovery key ID** と照合して対象ドライブのキーを特定します。

ドライブを解除する

1. ウィザードの **Target** 行で **Change** を選びます。
2. **BitLocker** タブを開きます。暗号化ドライブ、状態、利用できる解除手段が表示されます。
3. ドライブを選び **Unlock** をクリックします。
4. **Unlock your drive** で対応する方式を選びます。

- **NumericalKey:** 回復キーの 48 桁を 8 つの欄に入力します。**Recovery key ID** を確認してください。
- **Password:** BitLocker のパスワードを入力します。入力内容の表示は **Show** です。
- **ExternalKey:** キーファイルのあるリムーバブルドライブを選びます。

5. **OK** を選びます。
6. **Close** を選びます。

結果

BlueCon のセッション中はロック解除状態が続きます。ウィザードが Windows を再検出し、**Target** 行を更新します。

失敗するとエラーコードが表示されます。回復キーの ID が対象ドライブと一致するか確認してください。

> **有効な解除手段が必要です**
>
> BlueCon は有効なキー保護機能がなければドライブを開けません。回復環境では TPM と PIN、または TPM とスタートアップキーの組み合わせは使用できません。その場合は回復キーを使用してください。

関連項目

対象システムの準備

ドライバーの読み込み

メディアにドライバーがないと、ディスクやネットワークアダプターが検出されないことがあります。BlueCon の実行中に USB ドライブから読み込めます。

事前に用意するもの: 展開済みのドライバーと .inf ファイルを同じフォルダーに入れ、必要なら USB に保存します。インストーラー形式で提供された場合は別のコンピューターで展開してください。

ストレージ・ネットワーク用ドライバーを読み込む

1. ウィザードで、Windows が見つからない場合は **Load storage driver…**、ネットワークアダプターが見つからない場合は **Load network driver…** を選びます。
2. ドライバーのフォルダーを開いて .inf ファイルを選びます。
3. **Open** を選びます。

BlueCon は選択したフォルダーのドライバーを読み込み、読み込み件数を表示します。サブフォルダーは検索しません。その後、ドライブとネットワーク機器を再検出します。

特定のデバイスのドライバーを読み込む

1. ウィザードの **Target** 行にある **Change** を選びます。
2. **Driver** タブを開きます。種類別にデバイス、ドライバー、状態が表示されます。
3. 該当デバイスを選び、**Load driver** をクリックします。
4. .inf ファイルを選び、**Open** をクリックします。

> **互換性を確認してください**
>
> 不適合なドライバーはシステムの停止や破損を引き起こす場合があります。対象機器と 64 ビット版 Windows 10 または 11 に対応したドライバーのみを使用してください。

起動メディアに含める

毎回読み込む手間を省くには、作成用コンピューターにドライバーをインストールするか、エキスパートモードのドライバー選択で **追加** を使用します。ドライバーとプログラムの選択 を参照してください。

関連項目

対象システムの準備

ネットワークと画面の設定

ネットワークを使うと、共有フォルダーへのコピー、Firefox でのツールやドライバーの取得、オンラインヘルプの参照ができます。既定は DHCP です。ウィザードの **Network** 行に問題が表示されたら設定を確認します。

有線接続を設定する

1. ウィザードの **Network** 行で **Change** を選びます。
2. **IP configuration** タブの **Network device** でアダプターを選びます。
3. DHCP は **Automatic** を選びます。**Manual** の場合は **IP address**、**Subnet mask**、**Gateway servers**、**DNS** に必要な値を入力します。
4. **Apply** を選びます。
5. **Close** を選びます。

Wi-Fi に接続する

1. ウィザードの **Network** 行で **Change** を選びます。
2. **Wi-Fi** タブを開き、ネットワークを選びます。 非公開ネットワークの場合は **Hidden network** を選び、**Name (SSID) of the hidden network** に名前を入力します。
3. **WPA2-Key:** にネットワークキーを入力します。
4. **Connect** を選びます。
5. **Close** を選びます。

結果

ネットワークとインターネットの両方に接続できると、**Network** に「Network and internet connections are available.」と表示されます。**No network devices found** の場合はアダプターのドライバーを読み込んでください。ドライバーの読み込み を参照してください。

解像度を変更する

1. **Screen** 行で **Change** を選びます。
2. 一覧から解像度を選びます。
3. **Apply** を選びます。ウィザードが解像度をテストして適用します。
4. **Close** を選びます。

関連項目

起動しないコンピューターからファイルをコピーする

Windows インストールの修復

システムファイルの破損やファイルシステムエラーで Windows が起動しない場合、CheckAndRepair は回復環境からディスク上の Windows に DISM、SFC、CHKDSK を適用して検査・修復できます。

開始前の確認: BlueCon を起動し、対象の Windows を選択 します。

検査して修復する

1. **Start > Programs > SystemRecovery > O&O CheckAndRepair** を開きます。
2. **Windows installation:** で対象を確認します。既定は起動ウィザードで選択した Windows です。必要なら一覧から別の対象を選びます。
3. 検査する項目を選びます。

- **Check component store** は DISM でコンポーネントストアを検査します。
- **Check system files** は SFC で保護されたシステムファイルを検査します。
- **Check disk** は CHKDSK で Windows ドライブのファイルシステムを検査します。

4. **Check** を選び、結果を待ちます。
5. 問題がある場合は **Repair** を選びます。
6. 修復の完了を待ち、内蔵ディスクから再起動します。

オフラインの Windows には **Check Windows recovery environment** と Windows Update の機能は使用できません。

> **修復を中断しないでください**
>
> 完了するまで安定した電源に接続してください。**Cancel** は処理を止めますが、すでに適用した変更は元に戻りません。

結果

各検査の結果が表示されます。**Show log file** で詳細を確認できます。ログは RAM ドライブ X: にあるため、残す場合は USB ドライブにコピーしてください。

解決しない場合は 修復後も Windows が起動しない場合 を参照してください。

O&O CheckAndRepair のマニュアル も参照してください。

関連項目

- ドライバーが起動を妨げている場合は ドライバーやサービスの無効化 を参照してください。
- 更新後に起動しない場合は Windows 更新プログラムの削除 を参照してください。

障害のあるドライバーやサービスを無効にする

ドライバーのインストール直後のブルースクリーンなど、ドライバーやサービスの障害で Windows が起動しないことがあります。DriverManager と ServiceManager では起動の種類を変更し、次回に該当項目を読み込まないようにできます。両者は同じプログラムの別の表示で、前者はドライバー一覧、後者はサービス一覧を開きます。

開始前の確認: BlueCon を起動し、修復する Windows を対象システムに選択します。

ドライバーを無効にする

1. **Start > Programs > Administrative Tools > O&O DriverManager** を開きます。
2. 上部の **Target system:** を確認します。変更するには **Change…** を選びます。
3. **Search:**（Ctrl+F）でドライバー名、サービス名、説明、ファイル名の一部を入力します。
4. 該当ドライバーを選びます。複数項目をまとめて変更する場合は対象をすべて選びます。
5. 詳細ペインの **Startup type:** で **Disabled** を選びます。右クリックメニューの **Startup type > Disabled** でも指定できます。
6. 確認内容を読み **Change** を選びます。
7. プログラムを閉じ、内蔵ディスクから再起動します。

サービスを無効にする

1. **Start > Programs > Administrative Tools > O&O ServiceManager** を開きます。
2. サービスを選び、ドライバーと同じ手順で起動の種類を **Disabled** にします。
3. プログラムを閉じ、内蔵ディスクから再起動します。

同じ画面で **Services**（Ctrl+S）と **Drivers**（Ctrl+D）を切り替えられます。F5 で一覧を更新します。

起動の種類

種類	動作
Boot	ブートマネージャーが読み込みます。ストレージ用など、Windows の起動自体に必要なドライバーに限られます。
System	Windows の起動中に読み込みます。ドライバーのみに適用されます。
Automatic	起動後に自動開始します。サービスでは遅延開始（delayed start）やイベントによる開始（trigger start）の場合もあります。
Manual	要求時にのみ開始します。
Disabled	読み込みません。

変更のたびに確認が表示され、起動時に読み込まれる項目には警告が出ます。**Required by:** は、その項目を無効化すると起動できなくなる依存項目を示します。

> **起動に必要なドライバー**
>
> ストレージコントローラーやシステムバスなど、Windows の起動に必要なドライバーを無効にしないでください。Windows が起動できなくなります。

変更を元に戻す

変更のたびに、対象 Windows のレジストリファイルのコピーが自動保存されます。

1. バックアップの一覧を開きます。
2. 変更前のコピーを選びます。**Saved** 列で作成日時を確認できます。
3. **Restore** を選んで確定します。

復元前の現在のファイルも新しいバックアップとして保存されるため、復元自体を取り消せます。

ファイルが存在しないドライバーやサービスを探す

対応ファイルがない項目は赤色になり、詳細に「This file does not exist on the installation.」と表示されます。該当数はステータスバーに表示されます。アンインストールが不完全なときなどに残り、起動エラーの原因になることがあります。該当項目を確認して無効にしてください。

関連項目

イベントログの確認 で障害のあるドライバーやサービスを特定します。

Windows 更新プログラムを削除する

更新のインストール直後から Windows が起動しない場合は、回復環境の O&O UpdateManager で更新を削除できます。

開始前の確認: BlueCon を起動し、対象の Windows を選びます。

更新をアンインストールする

1. **Start > Programs > Administrative Tools > O&O UpdateManager** を開きます。
2. 上部の **Target:** を確認します。BlueCon で選んだ Windows が使われます。
3. インストール済みの更新一覧が表示されるまで待ちます。読み込みに時間がかかることがあります。
4. 障害直前の更新を選びます。**Installed on** で日付を確認し、展開して詳細を表示します。
5. **Remove…** を選びます。
6. 概要を確認してアンインストールを確定します。1 件だけ選ぶとボタンは **Remove 1 update** になります。
7. 完了を待ち、内蔵ディスクから再起動します。

次回の起動時に Windows がアンインストールを完了する場合があります。

結果

対象の更新が削除されます。Windows Update は再び配信するため、原因が解消されるまでは再インストールを延期またはブロックしてください。

> **アンインストールの中断**
>
> 更新は 1 件ずつ削除されます。待機中の項目はキャンセルできますが、開始済みの項目は最後まで処理されます。

> **アンインストールできない更新**
>
> サービススタック更新プログラムや Windows に組み込まれたパッケージは削除できません。UpdateManager の一覧にその旨が表示されます。

履歴

操作は履歴に記録されます。逆の操作が可能な場合は **Undo…** を使用できます。BlueCon の履歴は X: にあるため、再起動すると失われます。

関連項目

まだ起動できない場合は Windows インストールの修復 を参照してください。

Windows を起動せずに対象のレジストリを編集する

O&O RegEditor ではディスク上の Windows のレジストリを開き、対象を通常起動した場合に近い形で編集できます。たとえば、問題を起こした起動項目の削除や、起動を妨げる設定の修正に使います。

開始前の確認: BlueCon を起動し、修復対象の Windows を選びます。

対象システムのレジストリを開く

1. **Start > Programs > Administrative Tools > O&O RegEditor** を開きます。

対象のレジストリが読み込まれます。**HKEY_LOCAL_MACHINE** と **HKEY_USERS** は選択したインストールのキーです。回復環境には別のレジストリがあります。

対象が未選択の場合は、**C:\Windows** などインストール先の Windows フォルダーを指定するよう求められます。

オフラインでキーを特定する

ディスク上の Windows にはサインイン中のユーザーがいないため、一部のキーは別の場所で確認します。

通常起動時のキー	O&O RegEditor での確認先
HKEY_CURRENT_USER	このキーは表示されません。ユーザー別の設定は **HKEY_USERS** にあります。
HKEY_CLASSES_ROOT	このキーは表示されません。**HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Classes** を参照します。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet	このキーは表示されません。Windows は **ControlSet001** などの番号付きコピーを保持しています。**HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\Select** の **Current** が使用中のコピーを示し、通常の値 1 は **ControlSet001** に対応します。

キーを探す方法は次のとおりです。

- **Edit > Find…** でキー、値、データを検索します。単語単位や正規表現も使用できます。
- **Edit > Go to…** でパスに直接移動します。**View > Toolbars > Address bar** でアドレスバーを表示し、現在のパスの確認や別のパスの入力ができます。

値を変更する

1. 編集前にキーを選び **File > Export…** を実行します。.reg ファイルは X: を避けて、内蔵ディスクか USB に保存してください。

2. 対象の値を変更します。
3. RegEditor を閉じます。対象のレジストリも閉じます。
4. 内蔵ディスクから再起動します。

> **変更は直ちに保存されます**
>
> 変更は対象 Windows のレジストリに直接書き込まれます。RegEditor は自動バックアップを作らないため、変更前にキーをエクスポートしてください。

変更を元に戻す

File > Import… で保存したファイルを読み込みます。.reg ファイルは Windows レジストリエディターと互換性があります。

O&O RegEditor のマニュアル も参照してください。

関連項目

ドライバーやサービスの無効化

イベントログの確認

Windows はドライバー、サービス、アプリのエラーをイベントログに記録します。EventViewer はディスク上の Windows のログを読み込み、障害直前の状況を確認できます。

開始前の確認: BlueCon を起動し、対象の Windows を選びます。

対象システムのログを表示する

1. **Start > Programs > Administrative Tools > O&O EventViewer** を開きます。
2. 上部の **Target:** を確認します。別の Windows を選ぶ場合は **Change…** を選びます。
3. ドライバーやサービスの調査には **System**、アプリの調査には **Application** を開きます。
4. **From** と **To** で期間を、**Source** でイベントの発生元を指定します。
5. ◀ と ▶ でページを切り替えます。**Level** はレベル、**Date and time** は日時、**Source** は発生元、**Event ID** はイベントの識別番号です。
6. 項目を選びます。**General** にはメッセージ、**Details** には技術情報が表示されます。

起動障害の時刻付近のエラーを探します。**Source** と **Event ID** は該当ドライバーやサービスを特定する手掛かりになります。

Reload（F5）でログを再読み込みします。

ログファイルを開く

保存したログや他のコンピューターから受け取ったログは次の手順で開きます。

1. **Open log…**（Ctrl+O）または **+** を選びます。
2. .evtx ファイルを選びます。

Windows インストールが検出されない場合も、この方法でログファイルを開けます。

関連項目

- ドライバーやサービスの無効化
- Windows 更新プログラムの削除

Windows アカウントの回復

まず、アクセスを回復したい利用者のアカウントの種類を確認します。O&O UserManager は選択した Windows のローカルアカウントを管理します。Microsoft アカウントとドメインアカウントのパスワードは、それぞれのサービスで管理します。

パスワードをリセットする

- **Microsoft アカウント:** Microsoft のアカウント回復手続きで本人確認を完了してください。
- **職場、学校、ドメインのアカウント:** 組織のパスワードリセット用ポータルを使用するか、担当管理者に連絡してください。
- **ローカルアカウント:** Windows のサインイン画面で、セキュリティの質問やパスワードリセットディスクなど、そのアカウントに設定済みの回復方法を使います。他にコンピューターの管理者がいる場合は、その方に相談してください。

保護されたファイルと資格情報

管理者がローカルパスワードをリセットする前に、利用者に EFS 暗号化ファイル、個人用証明書、保存済みの資格情報がないか確認してください。管理者によるリセット後は、利用者がこれらに再びアクセスできなくなる場合があります。必要なデータがある場合は、先にバックアップと回復用証明書を確認します。

データへのアクセスを維持する

そのアカウントにサインインできる場合や、設定済みの回復方法が使える場合は、まずそちらを利用してください。取り消せない変更を行う前に、コンピューターの管理者と ローカルアカウントの管理 の選択肢を確認します。

結果を確認する

Windows を通常起動し、利用者が目的のアカウントにサインインできることを確認します。サインインパスワードと BitLocker 回復キーは用途が異なります。ドライブがロックされている場合は、そのドライブで有効なロック解除手段を使ってください。

関連項目

回復したアカウントに必要な権限を確認するには、ローカルユーザーとグループの管理 を参照してください。

ローカルユーザーとグループの管理

O&O UserManager が扱うのは、選択した Windows のローカルアカウントとローカルグループです。ドメインアカウントと Microsoft アカウントは、それぞれのサービスで管理します。変更前に、対象の Windows、ユーザー、グループをコンピューターの管理者に確認してください。

ローカル管理者アカウント

保守用アカウントが必要な場合は、担当管理者に依頼し、正規の管理者セッションまたは組織の管理ツールで作成してもらいます。既存アカウントの復旧は Windows アカウントの回復 を参照してください。

アカウントの変更

アカウント名、状態、利用者を確認します。無効化、名前変更、削除は、Windows へのサインインや、そのアカウントを使用するサービスに影響することがあります。削除前に、データにアクセスできることとバックアップの有無を確認してください。

> **削除したアカウントは元に戻せません**
>
> 同じ名前で作り直しても Windows は別の ID を割り当てます。以前のアカウントが持っていたファイルや設定へのアクセス権は引き継がれません。

ローカルグループ

所属するローカルグループによって、そのコンピューター上の権限が決まります。担当管理者とグループの所属状況を確認し、役割に必要な権限だけを付与してください。所属の変更は、ファイル、プログラム、管理作業へのアクセスに影響することがあります。

結果を確認する

対象の Windows を起動し、利用者が予定どおりの権限で作業できることを本人と確認します。組織の手順に従って変更を記録してください。

関連項目

パスワードの問題については、アカウントの回復方法 を参照してください。

起動しないコンピューターからファイルをコピーする

Windows の修復を始める前に重要なファイルを保存します。O&O DiskCommander でドライブを開き、復旧対象のシステムフォルダーや利用者のフォルダーを確認できます。

前提条件

- O&O BlueCon が起動していること。
- 十分な空き容量のある外付けドライブか、利用権限のある共有フォルダーへのネットワーク接続があること。ネットワークと画面の設定 を参照してください。
- BitLocker ドライブの場合は先に BitLocker ドライブのロック解除 を行ってください。

ファイルをコピーする

1. 外付けドライブを接続します。
2. Windows+E を押すか、**Start > Programs > O&O DiskCommander** を開きます。
3. 一方のペインで、内蔵ディスク上のフォルダー（例: `C:\Users\<user name>`）を開きます。
4. もう一方のペインで外付けドライブまたはネットワーク共有を開きます。
5. 必要なファイルやフォルダーを選び、もう一方のペインへコピーします。

ネットワーク共有に接続する

サーバー、NAS、別のコンピューターへコピーするには、共有フォルダーをネットワークドライブとして割り当てます。

1. ネットワークが利用できない場合は起動ウィザードで設定します。ネットワークと画面の設定 を参照してください。
2. DiskCommander のツールバーで **Connect**、**Map network drive…** の順に選びます。
3. Windows の画面で空いているドライブ文字と共有パス（例: `\\server\share`）を指定します。
4. 資格情報を求められたら、共有元コンピューターで有効なアカウントを使ってサインインします。
5. もう一方のペインで新しいドライブを開き、ファイルをコピーします。

接続は再起動時に切断されます。

結果

ファイルが外付けドライブまたは共有に保存されます。修復に進む前にいくつか開き、内容を確認してください。

別の物理ディスクに保存する

同じディスクの別フォルダーにコピーしただけでは、ディスク故障時に元とコピーを両方失う可能性があります。

ファイルが見当たらない場合

DiskCommander は削除済みのファイルをコピーできません。その場合は O&O DiskRecovery で 削除したファイルの復旧 を試してください。

関連項目

- ドライブイメージの作成と復元
- Windows インストールの修復

削除したファイルの復旧

O&O DiskRecovery は削除されたファイルを検索して復旧します。O&O BlueCon から起動することで、検索中にインストール済みの Windows が対象ドライブに書き込み、削除データを上書きするのを防げます。

開始前の確認

- O&O DiskRecovery がライセンスに含まれていることを ライセンス別の機能 で確認します。
- 復旧データの保存先に外付けドライブを用意します。

ファイルを復旧する

1. 外付けドライブを接続します。
2. **Start > Programs > FileRecovery > O&O DiskRecovery** を開きます。
3. 削除したファイルがあったドライブを選びます。
4. 検索を開始し、結果を待ちます。
5. 復旧したいファイルを選びます。
6. 保存先に外付けドライブを選び、復旧を開始します。

> **対象ドライブに復旧データを保存しないでください**
>
> 調査中のドライブに書き込むと、復旧したいデータ自体が上書きされます。必ず別のドライブを保存先にしてください。

結果

復旧できたファイルが外付けドライブに保存されます。すべてのデータを取り戻せるかどうかは、削除後に元の領域が新しいデータで上書きされたかどうかによります。

関連項目

起動しないコンピューターからファイルをコピーする

ドライブイメージの作成と復元

O&O DiskImage はディスクやパーティション全体のイメージを作成・復元します。O&O BlueCon では Windows を起動する必要がないため、重要な修復前にデータを保護したり、修復できないコンピューターを復元したりできます。

前提条件

- O&O DiskImage がライセンスに含まれていること。機能一覧 を参照してください。
- 外付けドライブまたはネットワーク共有にイメージを保存できる空き容量があること。
- BitLocker 暗号化ドライブはロックを解除しておくこと。BitLocker ドライブのロック解除 を参照してください。

ドライブイメージを作成する

1. 回復環境で **Start > Programs > FileSafety > O&O DiskImage** を開きます。
2. ドライブのバックアップを開始します。
3. バックアップするドライブまたはパーティションを選びます。
4. 保存先として外付けドライブまたはネットワーク共有を指定します。
5. バックアップを実行し、完了を待ちます。

障害のあるディスクをイメージ化する

読み取りエラーやファイルシステムの破損がある場合は、ファイル復旧の前にフォレンジックイメージを作成します。この方式は未使用領域を含む全セクターの読み取りを試みます。物理的に読めないセクターでは読み取りエラーが発生することがあります。イメージ上で作業すれば、故障したディスクを繰り返し読み取らずに済みます。

1. 上記の手順でバックアップを開始し、該当ディスクを選びます。
2. バックアップオプションの **Imaging method** で **Forensic imaging** を選びます。
3. 別の物理ディスクにイメージを保存し、完了を待ちます。
4. O&O DiskImage で **Mount drive from image file…** を選び、イメージをドライブとしてマウントします。O&O DiskRecovery などでファイルを復旧できます。終了後は **Unmount drive** で解除します。

ドライブを復元する

1. 回復環境で **Start > Programs > FileSafety > O&O DiskImage** を開きます。
2. 復元を開始し、イメージファイルを選びます。
3. 復元先のディスクまたはパーティションを選びます。
4. 復元を実行し、完了を待ちます。
5. 内蔵ディスクからコンピューターを再起動します。

> **復元先の内容は上書きされます**
>
> 復元先のドライブまたはパーティションの全データが、イメージの内容に置き換わります。

結果

作成したイメージまたは復元済みドライブを使用できます。残したいレポートはディスクに保存してください。回復環境内だけに保存した DiskImage の設定やレポートは再起動で失われます。

関連項目

パーティションの管理

パーティションの管理

O&O PartitionManager でパーティションを作成、サイズ変更、移動、削除できます。BlueCon から起動すると Windows はディスクを使用していないため、Windows 自体のパーティションも変更できます。

開始前の確認

- O&O PartitionManager がライセンスに含まれていることを ライセンス別の機能 で確認します。
- 変更するドライブの最新バックアップを用意します。ドライブイメージの作成と復元 を参照してください。

パーティションを変更する

1. **Start > Programs > Administrative Tools > O&O PartitionManager** を開きます。
2. ディスクとパーティションを選びます。
3. サイズ変更、移動、作成、削除などの操作を選びます。
4. 予定される変更を確認して適用します。
5. すべての操作が終わるまでプログラムを閉じないでください。

> **データが失われる危険があります**
>
> パーティションを削除すると、その中のデータも失われます。サイズ変更や移動の途中で電源が切れたり作業が中断されたりすると、パーティションが読み取れなくなる場合があります。事前にバックアップし、コンピューターを電源に接続してください。

Windows パーティションを分割する

Windows と利用者のデータが同じパーティションにある場合は、パーティションを分割して別々に保存できます。

1. Windows のパーティションを選びます。
2. 右クリックし **Change location and size** を選びます。
3. **Partition size** の値を小さくし、パーティションの後ろに未割り当て領域を確保します。Windows 本体と今後の更新用に十分な空き領域を残してください。
4. 未割り当て領域を右クリックし **New partition > Primary partition** を選びます。
5. 変更を適用し、完了を待ちます。

結果

ディスクが新しいパーティション構成になります。Windows のパーティションを変更した場合は内蔵ディスクから再起動し、Windows が起動することを確認します。

詳しくは O&O PartitionManager 内のヘルプを開いてください。

関連項目

ドライブの完全消去

ドライブの完全消去

O&O SafeErase はドライブやパーティション全体を上書きし、データを復旧できないようにします。O&O BlueCon ではインストール済みの Windows が停止しているため、システムドライブも消去できます。

前提条件

- O&O SafeErase がライセンスに含まれていること。機能一覧 を参照してください。
- 残したいデータが別の物理ディスクに保存されていること。

ドライブを消去する

1. **Start > Programs > FileSafety > O&O SafeErase** を開きます。
2. ドライブ全体または個別のパーティションを選びます。
3. 対象の名前と容量を 1 台ずつ確認します。
4. 消去方式を選びます。
5. 消去を開始し、警告の内容を確認して確定します。
6. O&O SafeErase に完了が表示されるまで待ちます。

> **消去は取り消せません**
>
> 上書きされたデータは復旧ソフトでも取り戻せません。消去したくない外付けドライブは、開始前に取り外してください。

結果

消去に成功したドライブではデータを復旧できなくなります。Windows のドライブを消去した場合は、再インストールまたはイメージの復元を行うまで Windows は起動しません。

BlueCon 内ではドライブやパーティションの消去を行えます。閲覧履歴の消去やごみ箱を空にする機能など、通常の Windows セッション向けの操作は利用できません。

関連項目

消去対象の機器を記録するには システム情報の確認 を参照してください。

システム情報の確認

O&O DeskInfo はプロセッサー、メモリ、ドライブ、各コンポーネント、セキュリティ機能を表示します。機器の特定と適切なドライバーの選択、修復やディスク消去の前の構成記録に役立ちます。

情報を確認する

1. **Start > Programs > Administrative Tools > O&O DeskInfo** を開きます。
2. **System summary**（概要）、**Security**、**Hardware resources**、**Components**、**Software environment**、**Product keys** から分類を選びます。
3. 特定の値を探すには検索欄（Ctrl+F）を使います。

レポートをエクスポートする

1. **Export** を選びます。
2. HTML、テキスト、CSV、NFO などから形式を選びます。NFO は Windows のシステム情報ツール（msinfo32）で使用する形式です。
3. 全体または現在のページを選びます。共有する場合は **Hide sensitive data** を選んで機密情報を非表示にしてください。
4. 内蔵ディスクまたは USB ドライブに保存します。

表示される情報の対象

BlueCon 内の DeskInfo が調べるのはハードウェアと実行中のシステムです。したがってソフトウェア情報は回復環境のもので、ディスク上の Windows はオフラインのままです。

O&O DeskInfo のマニュアル も参照してください。

関連項目

ドライバーの読み込み

設定

作成ツールでは **詳細オプション**、回復環境では **O&O BlueCon - Configuration** を開きます。回復環境での設定は次の再起動まで有効です。

詳細オプション

詳細設定

項目	動作	既定値
エキスパートモード	メディア作成の前にドライバーとプログラムを選ぶ画面を表示します。ドライバーとプログラムの選択	オフ
作成前のクリーンアップ	原因不明の失敗時には **作成前のクリーンアップを一度だけ有効にする** を選びます。次の作成前に回復環境のキャッシュと作業ファイルを削除します。実行前なら **作成前のクリーンアップを無効にする** で取り消せます。	オフ

O&O Syspectr

この項目は O&O Syspectr をインストールしたコンピューターでのみ表示されます。

項目	動作	既定値
O&O Syspectr の統合	メディアにエージェントを含め、Syspectr での表示とリモートサポートを可能にします。有効化時にこのコンピューター専用かを指定します。専用でない場合は BlueCon の起動ごとに一時システムが作成されます。	オフ

ログ

項目	動作	既定値
ログファイルの表示	作成ツールのログフォルダーを開きます。作成に失敗した場合、サポートからログの提出を求められることがあります。	–

エキスパートモード

タブ	設定	動作	既定値
ホストのドライバーを含める	**ホストシステムのすべてのドライバーを含める（推奨）**	作成に使うコンピューターの全ドライバーを追加します。	選択済み
	ドライバーを含めない	ホストのドライバーを追加しません。	–
	選択したドライバーを含める	一覧で選択したものと **追加** で指定したものだけを使用します。	–
プログラム	プログラム一覧	任意のツールを選択または除外します。	すべて選択

書き込み先メディア

項目	動作	既定値
書き込み先メディア	**ISO イメージ**、**WIM イメージ**、**リムーバブルディスク** から選びます。	最初のリムーバブルディスク
すべてのドライブを表示	USB 接続の外付け HDD と SSD を含めます。内蔵ディスクとシステムディスクは表示されません。	オフ

起動ウィザード

項目	設定内容
Target	対象 Windows、ドライブ文字、ドライバー、BitLocker ロック解除。対象システムの準備
Network	ネットワークアダプター、IP の自動・手動設定、Wi-Fi。ネットワークと画面の設定
Screen	画面の解像度。

Start メニューとプログラム

Start メニューと起動パネルからは同じプログラムを開けます。ライセンス対象外のものやエキスパートモードで除外したものは表示されません。以下は英語の回復環境での表示です。

プログラム

メニュー項目	用途	利用条件
Control Panel > O&O BlueCon - Configuration	対象、ドライブ、BitLocker、ドライバー、ネットワーク、画面のウィザード。	標準
Programs > O&O DiskCommander	ファイル管理。	標準
Programs > Mozilla Firefox	Web ブラウザー。	作成時にダウンロード
Programs > Notepad++	テキストエディター。	作成時にダウンロード
Programs > Accessories > Microsoft PowerShell	PowerShell 7。	作成時にダウンロード
Programs > Accessories > O&O Calc	十六進・八進・二進表記にも対応する電卓。	標準
Programs > Administrative Tools > O&O RegEditor	対象システムのレジストリ管理。	標準
Programs > Administrative Tools > O&O UserManager	ローカルユーザー、グループ、パスワードの管理。	標準
Programs > Administrative Tools > O&O DeskInfo	システム情報。	標準
Programs > Administrative Tools > O&O ServiceManager	対象システムのサービス。	標準
Programs > Administrative Tools > O&O EventViewer	対象システムのイベントログ。	標準
Programs > Administrative Tools > O&O DriverManager	対象システムのドライバー。	標準
Programs > Administrative Tools > O&O PartitionManager	パーティション管理。	ライセンスによる
Programs > Administrative Tools > O&O UpdateManager	対象システムの Windows 更新プログラム。	標準
Programs > FileSafety > O&O DiskImage	ドライブイメージの作成・復元。	ライセンスによる
Programs > FileSafety > O&O SafeErase	ドライブの完全消去。	ライセンスによる

メニュー項目	用途	利用条件
Programs > FileRecovery > O&O DiskRecovery	削除ファイルの復旧。	ライセンスによる
Programs > SystemRecovery > O&O CheckAndRepair	対象システムの修復。	標準

「作成時にダウンロード」はメディア作成ツールが準備中にプログラムを取得することを示します。

その他の項目

項目	用途
About	BlueCon のバージョンとライセンスを表示します。
Help and Support	このマニュアルを Firefox で開きます。
Run…	名前を指定してプログラムやファイルを開きます。例として `cmd` でコマンドプロンプトを開けます。**Browse…** でファイルを選べます。
Restart	BlueCon を終了して再起動します。
Shut down	BlueCon を終了して電源を切ります。

キーボードショートカット

キー	動作
Windows キー	Start メニューを開く、または閉じます。
Windows + E	O&O DiskCommander を開きます。
Alt + Tab	開いているウィンドウを切り替えます。
Enter	起動ウィザードの **Next** と同じです。

キーボード配列

配列はメディアの言語に対応します。英語のメディアでは米国配列、ドイツ語のメディアではドイツ語配列を使用します。

コマンドライン

専用ツールがない作業には Microsoft PowerShell や Windows コマンドプロンプトを使用できます。どちらもディスク上の Windows ではなく回復環境で実行されます。

コマンドラインを開く

ツール	英語画面での開き方
Microsoft PowerShell（PowerShell 7）	**Start > Programs > Accessories > Microsoft PowerShell**
コマンドプロンプト	**Start > Run…** で `cmd` と入力し、**OK** を選びます。

PowerShell はメディア作成時にダウンロードされます。エキスパートモードで除外した場合はメニューに表示されません。コマンドプロンプトは常に利用できます。

終了するには `exit` と入力します。

ドライブ文字

- **X:** はメモリ上の回復環境です。再起動すると内容が失われます。
- 通常の Windows とドライブ文字が異なる場合があります。起動ウィザードの **Drives** タブで確認・変更できます。対象システムの準備 を参照してください。

ドライブを変更するコマンドを使う前に `dir` で対象の内容を確認してください。

スクリプト

スクリプトとバッチファイルは X: ではなく USB または固定ディスクに保存します。`E:\scripts\collect-logs.cmd` のようにフルパスで起動します。

> **コマンドには確認画面がありません**
>
> ドライブを変更するコマンドはデータに直接作用します。文字を間違えると別のドライブのデータが削除・上書きされる恐れがあります。開始前にバックアップしてください。

Windows のツール

Windows 回復環境を基にした BlueCon は、`diskpart`、`chkdsk`、`bcdboot` などの Windows ツールを備えています。Windows の検査や修復には、選択したインストールに DISM、SFC、CHKDSK を適用する O&O CheckAndRepair を使用してください。Windows インストールの修復 を参照してください。

旧版の `passwd` や `vmap` は現在の製品には含まれません。通常の管理には Start メニューの対応ツールを利用します。ローカルアカウントの管理には O&O UserManager があります。

クラッシュレポート

回復環境のプログラムが予期せず終了した場合、BlueCon がクラッシュダンプの保存を提案します。O&O サポートが原因の調査に使用できます。

クラッシュ情報の保存画面

Application unexpectly closed に推奨の保存先、空き容量、必要容量が表示されます。

項目	用途
パス	起動 USB が利用できればそこを、利用できなければメモリ上の X: を保存先として提示します。内蔵ディスクは候補として提示されません。
…	保存フォルダーを変更します。
OK	ダンプを保存してプログラムを閉じます。
Cancel	保存せずに閉じます。

ファイルの相対パスは `OOBC-Dumps\<program>-<date>-<time>.dmp` の形式です。

> **X: にあるダンプは再起動すると失われます**
>
> 保存先が X: の場合は、再起動前にダンプを USB ドライブにコピーしてください。

ブルースクリーン

回復環境自体がブルースクリーンで停止した場合は停止コードが表示されます。サポートへの問い合わせに添えられるよう控えてください。

ダンプをサポートへ送る

O&O のサポートと関連情報 を参照してください。

用語集

用語	意味
BitLocker	Windows のドライブ暗号化。BlueCon でアクセスするには、有効なキー保護機能（通常は回復キー）でロック解除します。
BitLocker 回復キー	ドライブのロック解除に使う 48 桁の数字。キー ID で対応するドライブを確認できます。
起動メディア	BlueCon の回復環境を格納した USB ドライブ、ISO イメージ、WIM イメージ。
CHKDSK	ファイルシステムを検査・修復する Windows ツール。
DISM	システムファイルの復元に使うコンポーネントストアを検査・修復する Windows ツール。
エキスパートモード	作成ツールで組み込むドライバーとプログラムを選ぶ設定。
ホストシステム	起動メディアを準備するために作成ツールを実行するコンピューター。
ISO イメージ	CD や DVD の内容を格納するファイル。ディスクに書き込んだり、仮想マシンにマウントしたりできます。
起動パネル	回復環境のデスクトップ上部にある、プログラム起動用のタイル。
メディア作成ツール	正常な Windows コンピューターで起動メディアを作成する BlueCon のプログラム。
RAM ドライブ X:	回復環境を格納するメモリ上のドライブ。再起動で内容が失われます。
回復環境	メディアから起動する、BlueCon の Windows PE システム。
SFC	保護された Windows システムファイルを検査・復元するシステムファイルチェッカー。
起動ウィザード	対象 Windows、ネットワーク、画面を設定する **Welcome to O&O BlueCon** ウィンドウ。
対象システム	BlueCon のツールが処理する、ディスクにインストールされた Windows。
UEFI	BIOS に代わる現行コンピューターのファームウェア。起動に使用するドライブを決めます。
Windows PE	インストールと復旧用の最小構成の Windows。BlueCon 回復環境の基盤です。
WIM イメージ	Windows のイメージ形式。BlueCon は回復環境をこの形式で保存できます。

トラブルシューティング

該当する症状を探し、原因と対処方法を確認してください。解決しない場合や該当する症状がない場合は、テクニカルサポートを参照してください。

起動メディアの作成に失敗する

考えられる原因: 回復環境やプログラムのダウンロードに失敗したか、以前のメディア作成時に保存されたキャッシュファイルが破損しています。

対処方法

1. インターネット接続を確認し、ファイアウォールやプロキシが作成ツールの通信を許可しているか確認します。
2. **詳細オプション** を開き、**作成前のクリーンアップを一度だけ有効にする** を選びます。
3. メディアを作成し直します。
4. それでも失敗する場合は、**詳細オプション** のログ項目で **ログファイルの表示** を選び、ログを O&O サポートに送ります。

USB ドライブが書き込み先の一覧に表示されない

考えられる原因: 初期設定ではリムーバブルディスクだけが表示されます。USB 接続の HDD や SSD は非表示になっていることがあります。内蔵ディスクは選択対象外です。

対処方法

1. **すべてのドライブを表示** を有効にします。
2. それでも表示されない場合は、別の USB ポートに接続し、書き込み先のメディアを選ぶ画面を開き直します。

USB ドライブからコンピューターを起動できない

考えられる原因: ファームウェアが別のドライブを優先しているか、セキュア ブートなどの設定によって USB からの起動が制限されています。

対処方法

1. ファームウェアの起動メニューを開き（通常は F12、F11、F8 または Esc）、USB ドライブを選びます。
2. ファームウェアの設定で USB からの起動を有効にし、起動順序の先頭に USB ドライブを指定します。
3. 起動できない場合は、セキュア ブートを一時的に無効にします。O&O BlueCon の使用後は再び有効にしてください。
4. 別の USB ポートを試します。できればコンピューター本体のポートを使用します。
5. メディアを作成し直すか、別の USB ドライブを使用します。

Windows のインストールが見つからない

考えられる原因: BitLocker でドライブがロックされている、ストレージドライバーがない、またはディスクが認識されていません。

対処方法

1. 暗号化されたドライブの場合は、BitLocker のロックを解除します。
2. RAID や NVMe コントローラーなど、必要なストレージドライバーを読み込みます。
3. ファームウェアでディスクを認識するか確認します。ここでも見つからない場合は、ディスクや接続部分の物理的な故障が考えられます。

ネットワークに接続できない

考えられる原因: ネットワークアダプターのドライバーがない、ネットワークで DHCP を使用していない、または Wi-Fi に接続していません。

対処方法

1. **No network devices found** と表示されたら、アダプターのドライバーを読み込みます。
2. IP の手動設定または Wi-Fi への接続を行います。

BitLocker ドライブのロックを解除できない

考えられる原因: 回復キーが別のドライブのものか、入力した数字に誤りがあります。

対処方法

1. ロック解除画面の **Recovery key ID** と、使用する回復キーの ID が一致するか確認します。
2. 48 桁の数字を入力し直します。

修復しても Windows が起動しない

考えられる原因: システムファイルが正常でも、ドライバーの不具合、更新プログラム、ハードウェアの故障などで起動できなくなることがあります。

対処方法

1. 対象の Windows インストールの **System** ログを確認します。
2. 問題が特定の更新プログラムのインストール直後から発生している場合は、その更新プログラムを削除します。
3. ログで原因として示されたドライバーまたはサービスを無効にします。
4. イメージの復元や Windows の再インストールを検討する前に、重要なファイルをコピーします。

Start メニューにプログラムが見当たらない

考えられる原因: ライセンスの対象外か、メディア作成時にエキスパートモードでそのプログラムを除外しました。

対処方法

1. エキスパートモードの **プログラム** タブを確認します。
2. 起動メディアを作成し直します。

画面の解像度が低すぎる

考えられる原因: 回復環境で汎用グラフィックスドライバーを使用しています。

対処方法: Screen で解像度を上げてください。

よくある質問

BlueCon から起動するとディスクが変更されますか？

回復環境はメモリ上で動作します。インストール済み Windows に変更が加わるのは、そのディスクに書き込むツールを使用した場合です。回復環境の仕組み を参照してください。

修復するコンピューターにも BlueCon のインストールが必要ですか？

いいえ。正常なコンピューターに BlueCon をインストールし、そこで起動メディアを作ります。修復するコンピューターではそのメディアから起動してください。

ドメインや Microsoft アカウントのパスワードをリセットできますか？

O&O UserManager が扱うのはローカルアカウントだけです。ドメインや Microsoft アカウントは組織またはサービス提供元の回復手続きを利用します。Windows アカウントの回復 を参照してください。

回復キーがなくても BitLocker ドライブを開けますか？

そのドライブで有効なキー保護機能による解除が必要です。一般的なのは 48 桁の回復キーです。BitLocker ドライブのロック解除 を参照してください。

通常は BitLocker の入力を求められないのに、なぜロックされていますか？

通常の Windows を起動するときは TPM がキーを提供します。BlueCon では 48 桁の回復キーを使います。Microsoft アカウントを使用している場合は aka.ms/myrecoverykey で確認できます。回復キーが必要な理由 を参照してください。

セキュアブートで起動できますか？

メディアから起動できない場合は、セキュアブートを一時的に無効にする必要があることがあります。作業後は再度有効にしてください。トラブルシューティング を参照してください。

再起動すると保存したファイルが消えるのはなぜですか？

X: ドライブはメモリ上にあり、再起動すると内容が失われます。残したいファイルはディスクまたは USB ドライブに保存してください。回復環境の仕組み を参照してください。

BlueCon の更新後にメディアを作り直す必要がありますか？

はい。メディアは自動更新されないため、新しいバージョンをインストールしたら 起動メディアを作り直してください。

CD や DVD を使用できますか？

はい。作成ツールで **ISO イメージ** を選び、保存したイメージをライティングソフトでディスクに書き込みます。起動メディアの作成 を参照してください。

Start メニューにプログラムが見当たらないのはなぜですか？

ライセンスに含まれないか、メディア作成時にエキスパートモードで除外された可能性があります。ライセンス別の機能 を確認してください。

新機能

O&O BlueCon 25

回復環境

- デスクトップを刷新し、プログラムの起動パネル、タスクバー、Start メニューを搭載しました。
- 収録プログラムは次のとおりです。
- **O&O DiskCommander** が O&O FileExplorer に代わりました。
- **O&O DeskInfo** が O&O SystemInfo に代わりました。
- **O&O CheckAndRepair** が O&O CheckDisk に代わりました。ディスク上の Windows のコンポーネントストア、システムファイル、ファイルシステムを検査できます。
- **O&O RegEditor** が従来のレジストリエディターに代わりました。
- **O&O UpdateManager** が O&O UpdateRemover に代わりました。
- **O&O SafeErase 22** を搭載しました。
- **O&O UserManager** はローカルユーザーとグループの管理、およびローカルアカウントのパスワードに関する機能を提供します。
- **O&O DriverManager** と **O&O ServiceManager** は、変更のたびに変更前のレジストリファイルを保存します。バックアップ機能で以前の状態に戻せます。また、ファイルが見つからないドライバーやサービスが強調表示されます。
- プログラムが予期せず終了した場合に、O&O サポートに提出するクラッシュダンプを保存できます。

起動メディア作成ツール

- 現在の Windows 回復環境を Microsoft からダウンロードします。Windows ADK は不要です。
- BIOS と UEFI の両方で起動できる USB ドライブを作成します。内蔵ディスクとシステムディスクは書き込み先に表示されません。
- エキスパートモードに **プログラム** タブを追加しました。
- 必要なコンポーネントは Microsoft .NET 10 Desktop Runtime です。

O&O のサポートと関連製品

BlueCon のサポート窓口、ライセンスとアップデート、関連する O&O 製品を紹介します。

サポート

- **このマニュアル:** 原因と対処法は トラブルシューティング、一般的な質問は よくある質問 を参照してください。
- **O&O サポート:** O&O Software のサポートページ に製品情報と問い合わせフォームがあります。
- **製品ページ:** O&O BlueCon のページをご覧ください。

問い合わせ前に用意する情報

次の情報を含めてください。

- BlueCon のバージョン。作成ツールの **バージョン情報**、回復環境の **Start > About** で確認できます。
- 作成用と修復対象の両方の Windows バージョン。
- 機器のメーカーと型番、または O&O DeskInfo のレポート。システム情報の確認 を参照してください。
- エラーの全文、またはブルースクリーンの停止コード。
- メディア作成に失敗した場合は、**詳細オプション** のログ項目 **ログファイルの表示** で開くログ。
- プログラムが異常終了した場合はクラッシュダンプ。クラッシュレポート を参照してください。

パスワードや BitLocker 回復キーは絶対に送信しないでください。O&O サポートはこれらを必要としません。

ライセンスと更新

BlueCon は商用ソフトウェアです。起動メディアの作成には有効なライセンスが必要です。インストールと認証 を参照してください。

更新するには新しいバージョンを上書きインストールし、メディアを作り直します。

関連製品

製品	用途
O&O DiskImage	ドライブやシステム全体のバックアップと復元。
O&O Syspectr	PC とサーバーのリモート監視・管理。
O&O SafeErase	ファイルとドライブの取り消せない完全消去。
O&O Defrag	PC とサーバーのストレージ最適化。
O&O ShutUp10	Windows のプライバシー設定の管理。

全製品は O&O 製品一覧 をご覧ください。